

1. 実施機関名

国立大学法人金沢大学

2. 企画名

人類の未来をつくる独創的研究者の育成

3. 総合評価コメント

企画の目標を達成し、十分な成果が得られたと評価する。

実施体制について、二重メンタリング体制の構築、他大学や企業との連携の拡大など体制の充実が見られる。高大接続の入試の仕組みも活用され実績が出てきている。また、受講生の募集について、応募書類や方法に工夫が見られ、着実に一定数の応募者があった。育成プログラムについて、第二段階を2つのステージに分け、それぞれの時期に行うべきことを明確にし、受講生の興味・関心に応じた質の高い研究が推進できている。受講生の研究テーマは多岐にわたり対外発表の成果など着目すべき優れたものが多い。全体を通して育てたい人材像を踏まえたプログラムの評価がなされており、改善すべき点なども丁寧に分析されている点も良い。

一方、受講生募集について、募集に関する課題分析を実施した結果から具体的な対策につなげ、応募者数を更に増やしていくことが望まれる。第1ステージの着想科目について、分野融合的なアプローチができる人材育成のため、内容の充実について引き続き検討していただきたい。第3ステージについて、研究の一層の深化を目指すことも重視するなど更なる内容の充実を期待する。また、受講生のロールモデルとなる女性教員の拡充も検討してほしい。

今後、次世代科学技術チャレンジプログラムにおいて、支援期間終了後の活動継続に向け、修了生など多くの協力者に支えられる持続可能な体制作りを進めるほか、外部連携の拡充や有機的な稼働を通して更なる発展を期待する。